

## ●開催日時●

2023年  
3月21日(火・祝)  
13:30~16:15

## ●会場●

大阪府立中央図書館  
ライティホール

東大阪市荒本北 1-2-1  
(近鉄けいはんな線荒本駅 北西 400m)

## ●対象●

子どもの本に関心のある方なら  
どなたでも

定員300名(申込先着順)

参加費 無料

## ●申込方法●

2023年2月1日から  
[Peatix]



<https://20230321Kenji.peatix.com> から

日本児童文学には、安房直子、あまんきみこ、天沢退一郎、斎藤隆介、富安陽子など、賢治童話の影響を色濃く感じさせる作家がいます。マンガ化や絵本化もされ、その影響は多岐にわたっています。日本児童文学で賢治がどのように評価されてきたか、どのように受け取られてきたかを考えます。

# 宮沢賢治から 日本児童文学が 受け取ったもの



## ●基調報告

「宮沢賢治の評価史と賢治童話の影響をうけた児童文学」

宮川健郎

大阪国際児童文学振興財団理事長、宮沢賢治学会理事

## ●講演

「賢治童話の絵本化とマンガ化」

大島文志 宮沢賢治学会理事、文教大学教授

## ●対談

「童話作家・富安陽子さんに「賢治」を聞く」

聞き手 遠藤純 大阪国際児童文学振興財団理事、宮沢賢治学会理事、武庫川女子大学准教授

## ●質疑応答

## 富安陽子さん



童話作家。東京生まれ。日本の神話や伝承を生かしたファンタジー読物や絵本を数多く発表。

その作風は、賢治の影響を感じさせるとも言われる。

1991年「クヌギ林のザワザワ荘」で日本児童文学者協会賞新人賞、小学館文学賞。

「小さなスズナ姫」シリーズをはじめ、「ムジナ探偵局」「シノダ!」「内科・オバケ科 ホオズキ医院」「やまんばあさん」「菜の子先生」など数多くのシリーズで受賞多数。

近年の話題作に「博物館の少女 怪異研究事始め」がある。

●主催● 宮沢賢治学会イーハトーブセンター 日本児童文学学会関西例会 一般財団法人 大阪国際児童文学振興財団

問合せ



一般財団法人  
大阪国際児童文学振興財団  
International Institute for Children's Literature, Osaka

〒577-0011 大阪府東大阪市荒本北1-2-1 大阪府立中央図書館内  
TEL 06-6744-0581 FAX 06-6744-0582  
<http://www.iiclo.or.jp/> E-mail:office@iiclo.or.jp